

## 事務局短信



篠山大会で事務局をおおせつかることになりました。所用で村研大会を欠席したところ、このような決定になり、東大裁判に先だつ欠席判決と恐縮しております。十分に事務をこなせる態勢とはほど遠いのですが、あの程度の事務局なら誰でもできるところで、多くの方々が順次事務局をひきうけられやすくなる一助になればよいのではないかとも思っています。



事務局の連絡先は

東京都小金井市貫井北町四一一

東京学芸大学社会学研究室内 村落社会研究会事務局

電話 ○四二三一二一一七四一 内線三一八

です。今年は年報事務局も一緒ですので、当面一切の御連絡は右宛にお願いいたします。なお、大会は東北大学で開催をひきうけられましたので、直接の大会事務はそちらでお願いすることになると思

いますが、そのための連絡先は、おつてお知らせいたします。また、年末年始など休暇等のため緊急に御連絡いただくには、大学は不便ですので、そのような場合は、蓮見自宅へ御連絡下さい。住所は東京都中野区中野六一四一五 蓮見音彦

「村落社会研究の方法」という課題は、今のところきわめて抽象的ですので、このままでは大会の共通課題としては扱いにくいと思います。会員の方々の御尽力によって、論じあうべき焦点を明確にしてゆくことが不可欠だと思います。来年の大会までにその仕事がどれだけ進められるかが、大会を盛り多いものにすることができるか否かの重要な鍵だと思いますので、会員の方々から多数御意見をよせられるよう特にお願ひしたいと考へています。

年報第六集の研究動向のうち、社会学について後藤和夫氏にお願いしましたところ早速承知していただきました。社会学関係の方は六九年四月から七〇年三月末までに刊行された論文などの抜刷あるいは、題名などを左記あてお送りいたとき、同氏の執筆に御協力下さい。他の分野の方は次回にはお返事をいただけると思いますので御知らせします。

であります。

(電話 ○二一三六八一〇六七)

豊橋市牛川町南台三九 後藤和夫